

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成23年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立文学館	所管課	学術文化財課
所在地	甲府市貢川 1-4-27	設置年月日 (改築年月日等)	平成元年11月3日
管理方式	指定管理者(SPS・桔梗屋グループ、平成21年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立文学館設置及び管理条例		
設置目的	文学に関する県民の知識及び教養の向上を図り、県民文化の発展に寄与するため文学館を設置する。		
主な施設内容 (定員等)	常設展示室1室(478㎡) 特別展示室2室(520㎡) 閲覧室(246㎡) 研修室3室(159㎡150名) 講堂(655㎡509名) 個人研究室2室(7㎡) 共同研究室2室(27㎡) 収蔵庫(235㎡) 書庫(412㎡)		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の承認に関する業務 ・施設及び設備器具の維持保全に関する業務 ・研修室、講堂及び研究室を一般の使用に供することに関する業務 ・その他県教育委員会が必要と認める業務 		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	公立3館 三島由紀夫文学館・徳富蘇峰館(山中湖村)、横溝正史館(山梨市) 県内には県立文学館に匹敵する規模の文学館はなく、比較が困難である。
-------------------	---------------------------------------------------------------------------

3. 利用状況

単位:人、%

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (目標値)
利用者数合計	105,043	112,888	113,121	
目標値	125,500	104,900	104,900	114,500
目標値設定の考え方		文学館の入館者 総数	文学館の入館者 総数	文学館の入館者 総数
対21年度比	100.0%	107.5%	107.7%	109.0%
稼働率	—	—	—	—

4. 収支状況

単位:円、%

		平成22年度	平成23年度 (計画値)	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (目標値)
収入	施設利用料	0	0	0	0
	指定管理者委託料	102,317,901	101,699,000	101,257,000	100,556,000
	その他	0	0	0	0
	収入合計(A)	102,317,901	101,699,000	101,257,000	100,556,000
支出	人件費	44,125,000	43,517,000	43,901,000	42,598,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	58,088,000	58,182,000	57,107,000	57,958,000
	(うち外部委託費)(B)	39,303,000	39,282,000	39,281,000	38,902,000
	支出合計(C)	102,213,000	101,699,000	101,008,000	100,556,000
収支差額(A-C)		104,901	0	249,000	0
外部委託比率(B÷C)		38.5%	38.6%	38.9%	38.7%
利用者一人当りの経費		906	969	893	878

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成23年4月~24年3月 実施方法:来館者へのアンケート、回答数:862人
-------	------------------------------------------------

単位:%

調査項目	十分	不十分	その他	
①施設設備の充実度	88%	2%	10%	
②施設設備の整備状況	89%	1%	10%	
③サービスの内容	85%	3%	12%	
④また来館したいか	90%	2%	8%	
各項目の平均	88%	2%	10%	

利用者の意見	<肯定意見> ・スタッフの対応、施設の清潔さ、展示の内容 <否定意見> ・照明の暗さ、駐車場からの導線、館内導線への不満
利用者の意見への対応	運営の工夫等で解決できる事項については随時対応。 施設設備に関する事項等については長期的観点で検討。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	指定管理者業務仕様書に基づき年間計画を立案し実施、法規により定められているものは、法令遵守を前提として、専門業者を一括管理委託し、保守点検、警備、清掃等維持管理を効果的に行った。	業務仕様書、業務計画書に基づき適正に実施されていた。
運営業務	条例・業務仕様書・業務計画書に基づき運営業務を行った。仕様がない項目についても直営部門と都度協議し対応し、館一体となった運営体制を構築している。	業務計画書に基づき適正に実施されていた。
自主事業	指定管理初の有料事業であり、指定管理料を利用しない「落語ぶんがく亭」を新たに実施。文学と落語の結びつきに焦点をあて、文学館の認知度向上に繋がる広報活動をかねた事業としている。今後はシリーズ化し、更なる認知度向上、ファンづくりに努める。	業務計画書に基づき適正に実施されていた。
利用状況	常設展・企画展は大震災の影響による観覧者の減少を最後まで取り戻すことが出来なかったが、諸室の利用増もあり、全体としては前年比99%で着地することで出来た。	震災の影響があったにもかかわらず、様々な広報等が功を奏し、前年と同様の利用状況であった。実績を様々な角度から分析し、今後の広報戦略等に繋げるよう要望。
収支状況	大震災に伴い年間を通じて節電対策を実施したため、電気代は大幅に減少。その削減分は施設運営・集客に必要な教育研修費や広報費に充当することで充実した活動を実施した。(三施設一括)	業務計画書に基づき適正に実施されていた。
利用者満足度	大震災に伴う節電対策のため、空調や照明等で利用者にご不便をおかけしたことが影響し、「十分」と回答される方が減少し、その分「その他」と回答された方が増加。「不十分」と回答された方の変動はないため、サービスの質の低下というよりは、若干の不自由さを感じられたことによる結果と思われる。	利用者の要望や苦情に関して、即時対応可能なものについては対応するとともに、それ以外のものは県と協議し、迅速に対応を検討することを確認。
運営目標の達成状況	常設展・企画展の落ち込みを諸室の利用増で補ったが、目標にはわずかに届かず。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	業務計画書に基づき適正に実施されていた。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	-	

7. 管理体制(組織図)

山梨県立美術館・文学館・芸術の森公園指定管理者

SPS・桔梗屋グループ組織体制図 2011年4月～

